スーパートライWallをご採用頂くにあたっての注意事項（必ずお読みください）

陶板壁材「スーパートライWall」は、天然の粘土を原料とした焼成品です。
粘土は採掘場所により成分・性質が微妙に異なり、また均一ではありません。
そのため、陶板壁材は天然原料を使った自然素材であることをご理解いただき、その特性を予めご了承ください。

商品について

- 本製品には、焼き物特有の若干のねじれ、反り又は曲がり、並びに寸法のバラツキにより施工時に若干の隙間が発生する事があります。
- 本製品の横目地幅は、設計上2mm確保しています。
- 本製品の長さは1810mm（標準、約6尺）のため、割り付けに注意してください。 なお、長さ1810mm以外でも対応可能な場合がありますので、お問い合わせください。
- シールレス工法用は、長さが異なりますのでご注意ください。
- 本製品には釉薬表面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや、粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物で燃焼時に発生するものです。
- 本製品は焼成により発色していますが、焼成窯内雰囲気の変化により同じ色でも色差が生じます。
- 水面-Minamo-シリーズは、釉薬による自然な風合いを表現しているため、表面の色柄がすべて異なります。
- 無垢-Muku-シリーズは、釉薬を使用せず焼き物ならではの独特な風合いをそのまま生かした製品のため、焼成窯内雰囲気の変化により色幅が大きくなります。特に「かえで」色では、その傾向が顕著に表れます。
- 無垢-Muku-シリーズは、基材（粘土）に含まれる鉄分が表面にある場合、水分と反応して点状のサビ（斑点）が発生することがありますが、これは品質的な劣化ではなく表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
- いぶし銀色は、焼成窯内雰囲気による特有の模様（ガス流れ）が現れますが、その程度は一様ではなく、生産時期やロットにより異なります。
- 本製品の施釉タイプには、貫入（かんにゅう）と呼ばれる釉薬表面に細かい亀裂が発生している場合があります。色により、直接貫入と呼ばれる製造直後に発生する貫入と、経年貫入と呼ばれる施工後徐々に発生する貫入があります。
- 本製品は日当たりの悪い場所や湿度の高い場所に施工された場合に、藻類の付着が発生することがありますが、壁材としての品質・性能を損なうものではありません。
- 本製品表面に、虹彩現象（雨水などが汚れとして付着し、これが平滑な薄膜状となった時、光の干渉で虹色に見える現象）が発生する場合があります。この現象は、特に濃色の釉薬で目立ちやすい特徴があります。
- 本製品は、粘土瓦と同じ原材料・生産方法を採用しておりますので不燃材料相当とされています（建設省告示第1400号）。ご使用に当たっては、建築主事・担当部局にご確認ください。
- 汚れが付着した場合、色により除去が難しい場合があります。（特に無垢-Muku-シリーズの場合は除去が困難ですのでご注意ください。）
- 重量物のため、運搬には注意を払ってください。材料の特性上、割れや欠けが発生しやすい製品です。
- 本製品は、上下あいじゃくり製品となります。左右あいじゃくり形状にはなっておりませんのでご注意ください。
- 本製品を保管する際は、堅い平らな場所としてください。
- 本製品は受注生産品の為、ご注文をいただいてから30日程度納期をいただいております。

副資材について

- タッチアップ（スーパートライWallペンキ）やシーリングは、本製品と色味や質感が異なります。
- シーリングの色は専用色がありません。また、本製品は焼き物のため生産時期やロットにより色のバラツキがありますので、納品された現物に合わせてシーリング色を選定してください。
- 縦目地部（シールレス工法の一般部を除く）、出隅・入隅部、開口部廻り、他部材との取り合い部、軒天部にはシーリング処理をしてください。また、シーリングの幅は10mmを基本としています。
- 部材を現地調達する場合は、本製品の形状・寸法に応じて仕様・工法を考慮し、納まり上問題のないものにて対応してください。

設計上の注意事項

外装

- 施工要領書は専門工事業者を対象としています。また、施工要領書に記載以外の納まりについては、本製品の機能及び性能が確保できるようご配慮をお願いします。
- 防耐火認定の詳細については、必ず認定内容（P49～55）をご参照ください。
- ディープボーダー柄は全ての防耐火認定に対応しておりませんが、下地を告示仕様とすることで対応可能な場合がありますので、お問い合わせください。
- 高さ13m以下の建物への施工を対象としております。それ以上の高さの建物に使用する場合は、お問い合わせください。
- 木造下地、鉄骨下地への施工を対象としています。RC造・ALCパネルへの施工は、専用部材・施工方法が確立されていないため、推奨しておりません。
- 適切な下地（柱、胴縁）に施工する仕様としてください。
- 必ず木胴縁又は通気金具を使用する外壁通気構法としてください。
- 無垢-Muku-シリーズでは特に、表面で伝い水等があると汚れが目立ちやすくなります。また汚れの除去が困難ですので、ご注意ください。
- 垂直以外の壁面（傾斜パラペット、逆勾配の傾斜面、曲面壁）には施工できません。
- 煙突への施工は、熱や湿気により劣化する恐れがあるため、避けてください。
- 本製品の働き幅の基準値は303mmですが、焼き物特有の寸法のばらつきが生じます。サッシ寸法を壁材の割り付けに合わせる場合は、寸法のばらつきを考慮した設計としてください。
- バルコニーなどの笠木の勾配は、バルコニーの内側に向かうようにとってください。水平、又はバルコニー外側に勾配をとると、雨水が本製品表面へ大量に流れて汚れの原因となります。
- 本製品をご使用頂く場合は、必ず本製品と透湿防水紙及び防水テープの二重防水構造としてください。
- シールレス工法とする場合は、施工仕様上、屋外側に構造用合板12mm以上などビス引き抜き強度が期待できる下地面材を施工してください。また、本製品の縦目地部がサッシ横から100mm以上離れるように割り付けてください。乾式水切りが納まらない場合があります。
- シールレス工法は、通気金具工法（15mm留め金具）のみを対象とし、平部（縦目地部）に限定した工法です。出隅・入隅部、軒天部、サッシ周りは、従来通りシーリングにて納める仕様となります。
- シールレス工法は、外張り断熱仕様ではご使用頂けません。
- 建物の下地ピッチは、木造では500mm以下、鉄骨造では606mm以下としてください。
- 割り付けは、図面段階での十分な検討を行い、100mm未満の小さな切り物ができるだけ発生しないようにご配慮をお願いします。カット寸法が150mm以上となるように窓位置や軒天高さに留意してください。
- 樋支持金物や配管支持材の取り付けは、下地のある場所で、又は補強材をあらかじめ施工し、かつ縦横目地を避けた位置に配置してください。
- ひさし、エアコン室外機、給湯器、物干し竿、ポスト、表札等の外設備を取り付ける場合は、本製品に直接固定せず、あらかじめ施工した下地に取り付けてください。外設備の落下、本製品の割れの原因となります。

内装

- 施工下地として、構造用合板12mmを張るなど、あらかじめ補強を行ってください。
- 下地合板や壁材の厚みにより、クロス張りと比べ38～55mm程度壁厚が増します。壁面が居室側にせり出してきますので、建具や設備等他の部材との取り合いにご配慮をお願い致します。
- 内装には縦張り対応可能です。ただし施工する場合は、施工高さを本体の長さ（標準1810mm）以内としてください。
- 薪ストーブ周りに施工する場合は、最新の関連法規等に準拠した施工仕様としてください。（本製品は、特定不燃材料相当とされておりますが、ご使用に当たっては、建築主事・担当部局にご確認ください。）
- 端部や外周部の化粧材等は専用品の設定がございませんので、壁の厚み等を考慮し適切なものを選定してください。
- 本製品は1130℃の高温で焼成しているため、調湿機能は期待できません。

その他

- 本製品自体を下地材として使用することはできません。
- 本製品の裏面が現れるような施工方法には使用できません。
- 本製品を常時水のかかる部位へ施工することは避けてください。（金具やビスの劣化の恐れがあります）
- 本製品は壁材としての使用を想定しております。

施工、使用上のご注意

- 施工前に工事責任区分をあらかじめ明確にしてください。
- 弊社が定める設計・施工要領書を基本として、専門工事業者により施工を行なってください。
- 本製品は焼き物の壁材です。適切な工具を用意し、カットや穴あけには瓦・タイル用の専用刃をご用意ください。（一般的な窯業系サイディング用の刃や鉄鋼用の刃では穴が開きません。）
- 本製品の穴あけ時には、ドリル刃を水で冷やしながら使用すると長くお使いいただけます。
- 本製品をカットする際は、粉塵が周辺に飛散しないよう注意し、強風時のカットは避けてください。また、カット作業時には保護メガネを着用してください。
- パレット積みの状態から取り出す場合は、引きずらずに持ち上げて運んでください。傷つきの原因となります。
- 湿式施工（接着張り）には対応しておりません。
- 同質出隅もご用意しておりますが、出隅部以外への施工は出来ません。
- 本製品に穴を開けビス留めする際は、端からの寸法を20mm以上確保するようにしてください。（割れの原因となります。）
- 本製品がカットによりL字形や門形となる場合、原則縁切りを行ってください。（亀裂や割れが発生しやすくなります。）
- 保管時は濡らさないように養生してください。（シーリング、タッチアップが適切に行えなくなります。）
- 建物の不陸が大きい場合は、2mm以下となるようにあらかじめ調整してください。（不陸が大きいと、割れにつながることがあります。）
- 補修時のタッチアップは、局部処理用のため広い範囲で塗布すると違和感を生じます。（釉薬面とは違い補修用ペンキは経年により変色します。）
- 本製品を施工する際はケガ及び製品への汚れ付着防止の為、手袋を着用してください。
- 割り付けが不適切な場合、材料のロス率が大幅に増加します。図面段階で十分な検討を行い、小さな切り物ができるだけ発生しないように割り付けを行ってください。
- 積雪地域においては、必要に応じて地域の垂直積雪量に応じた高さまで補強胴縁を入れてください。
- 本製品同士を突き付けて施工しないでください。（端部の欠けや目地隙が生じ雨漏れ等の原因となります。）
- 土台水切りへの突付け施工はしないでください。（通気が阻害されて躯体の早期劣化につながります。）
- 本製品は中空形状になっています。シーリングの打設は、中空穴を塞ぎ空気膨張により膨れなどが発生する場合がありますので、温度変化の影響が少ない時間帯に施工してください。また、シーリング打設時に押し込みすぎると中空内に入り込み、必要以上の量を消費することになりますのでご注意ください。
- 無釉タイプの製品にシーリングが付着すると除去が困難です。施工時は十分に注意してください。
- サッシの上部にシーリング処理をする際は、必ず排水路を設けてください。（必要に応じて市場品の水抜き部材を使用してください。）